

事務事業名	家庭ごみ分別チラシ作成・配布事業				担当	産業環境部 環境課 清掃係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				電話番号	0285-83-8126		
施策名	03	廃棄物の抑制と適切な処理				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成7 年度～）			
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	2.清掃費	2.ごみ収集費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市内全世帯に、地域ごとに出す日を記入したチラシ「家庭ごみ・資源の分け方・出し方」及び「資源の分け方（参考例）」を配布している。 また、外国人用として、4ヶ国語(英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語)に翻訳したチラシを配布している。 なお、チラシの配布方法は、自治会は区長・町会長を通じて、アパート等は大家・管理人等を通じて配布している。 自治会への配布は、平成21年度からシルバー人材センターに委託している。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 ・地域ごとにごみを出す日を記入したチラシを作成。（外国語も含む） ・市内全世帯に配布する。 ・市役所市民課窓口及び二宮コミュニティセンターに、転入者用のチラシを置く。  23年度計画 ・前年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
				ア チラシ等作成費	千円	453	421	444	472	519
				イ 配布事業費	千円			93	93	93
				ウ						
				エ						
				オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・市民				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
				ア 世帯数	世帯	22,429	22,816	27,961	28,007	27,565
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・チラシを通じて、家庭ごみの適正な分別と出し方を周知する。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
				ア ごみ排出量	t	21,498	21,198	24,913	24,492	24,000
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・廃棄物の適正な処理				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
				ア ごみ収集が良いと感じている市民の割合	%	85.8	84.9	80.8	86.7	
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移				単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	453	421	537	565	0	
			事業費計（A）	千円	453	421	537	565	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	10	10	10	10	0	
			延べ業務時間	時間	144	144	80	80	0	
			人件費計（B）	千円	603	602	324	341	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	1,056	1,023	861	906	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		・現在のチラシ配布は、平成7年度に3種9分類18品目の分別収集を始めた時に開始した。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		・外国人用に4ヶ国語のチラシを作成した。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										

2. 1 次評価の部      ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・家庭でごみの分け方・出し方として常用されているので、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・適正な分別を行うようPRすることは、行政の役割であるので、公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・市民（一般家庭のごみの排出者）を対象としているので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・必要な情報を全市民に周知しているので、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・ごみの分別と出し方のルールが統一されず、日常生活に支障をきたすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の事業費であるため、削減余地がない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の経費であるので、削減余地がない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・受益者負担金はなし。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								